

C-46 被服工作洋裁指導法の研究(オ3報) - カラーの応用作図指導の報告 -
仙台白百合短大 ○田山仁子 鈴木良子

目的 被服構成，洋裁指導の上でパターン作製，又はパターン応用にまでは時間数の関係で十分な指導ができない事を残念に思っていたが，今回の基本原理を確立した事により，容易に応用への途が開られたので発表する。

オ1報はオスノ回家政学会でショールカラー，フラットカラーの基本的な考察による作図法を発表した。オ2報は本学紀要において，テーラードカラーの基本作図法ならびに現在本学で使用している教科書のB式作図法と比較検討した結果を発表した。

今回は応用作図に発展させた結果ならびに方法についての発表をおこなう。

方法 ショールカラー，フラットカラーについては「感じ表現」すなわちカラーのデザイン表現を作図上でどのように考えさせ扱ったかについての結果を報告し，テーラードカラーはオーバーブラウス，ジヤケット，「若い人向けの通学通勤用」に応用作図させた。

結果 作図に要する時間が短くなった。考える態度すなわち「デザイン」と「作図」の関係が容易に理解され，関心も深まったように見うけられた。以上の事柄から被服構成(洋裁)における積極的な態度が感じとられた。